

編集後記

▼フランス・パリ第一大学における第二回日仏セミナーでの、当山住職の発表は、お蔭さまで、内外から高い評価を得ることができました。これは、檀徒の皆さまとの二人三脚の結果にほかなりません。

フランスで発表した内容を一挙に掲載いたしましたのは、檀徒の皆さまの協力なくしては何ひとつ可能ではなかつた種々の事業であること、檀徒の皆さまへの限りない感謝。それらを一貫して語り続けた当山住職を、更に身近に理解していただきたく、特集といたしました。

▼駒沢大学教授の奈良康明先生は、同セミナーにおいて「覚靈を資助し

て仏果を生ぜんことを」というテーマで英語で発表されました。『成寿』のために特別に寄稿くださいり、感謝にたえません。

▼来る四月二日、当山において、タイ上座部仏教法式による得度式が行われます。留学僧を受け入れていてわれたのは、檀徒の皆さまの協力なくしては何ひとつ可能ではなかつたト・パクナム住職のプラ・ダンマテララージヤマハームニ師が戒師として来日の予定です。タイ国外での得度式というものは初めてとあって、

が、得度を受ける四人の子息たちは、内外から関心が寄せられておりますが余念がありません。この得度式の模様は、次回に特集を組んでお伝えする予定です。

▼二月三日、恒例の節分会が厳修されました。立春とはいえ、逆に冬が戻つたような寒さの中での豆まさは、お集まりの方々にはさぞかしあ寒かつたことと拝察いたします。

▼春のお彼岸が近づいてまいりました。寒さもここまで、の感があります。布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智惠といふ六波羅蜜は、私たちの日々の暮らしの中で行われてはじめて意味のあることと考えれば、ひとつでも実行する心構えて、毎日を過ごしたいものです。（小熊）

成寿 第八号
昭和六年三月一日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野町一六〇四

電話 ○四五（八四五）一三七一

印刷所 神奈川新聞社出版局

越路かんのん

風が吹くとその声のかなしさに
雨が降ると一緒に泣けて
独り山路を越え札処へ参るのです
歩きつかれたら

樹の下で休み

月が出たら

光りの中で眠ります

しばし

人の世を離れ

ひたすらに

観音を求む

叱られても

めぐりあいたい

はるかなる大菩薩よ





妙法蓮華經